



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

女性研究者 人材不足戦国時代を 乗り越える

令和3年度
事業報告書

DIVERSITY

◆ ごあいさつ



金沢大学長
山崎 光悦

金沢大学は、グローバル化の進む社会において新たな価値の創出をリードする人材の育成と、世界的な研究拠点の形成を目標のひとつに掲げ、教育改革、研究力強化に向けた様々な改革を進めています。その実現のためには、性別、国籍、人種等の異なる多様な人材が集結し、お互いを尊重し合い、一人一人がその個性と能力を十分に発揮できる環境を整備することが重要であると考え、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを中心に女性研究者の活躍推進にも全学を挙げて取り組んでまいりました。

本年度、本学は文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択されました。これまでの取組を発展させ、多様な人材が活躍する環境の最適化を目指し、北陸地域にとどまらず全国のダイバーシティを推進する組織と連携しながら事業を展開してまいります。

また、令和4年4月からは、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを「ダイバーシティ推進機構」として組織を新たにします。新たな組織では、これまでの女性研究者支援に加え、外国人研究者・留学生、障がいをもつ学生・教職員に対する支援にも力を注ぎ、知やアイデアの融合から新たな価値の創造につなげてまいります。

誰もが自分らしく存分に活躍できるダイバーシティ環境の構築により、魅力ある大学像、そして地域の実現から北陸全体の発展につなげるにとどまらず、そのモデルを全国、世界にも発信していくことを期待しています。



金沢大学学長補佐
(男女共同参画推進担当)
金沢大学男女共同参画
キャリアデザインラボラトリー長
長谷部 徳子

金沢大学では、平成13年度に男女共同参画推進委員会を設置して以来、意欲ある女性研究者が活躍できる環境の整備や、北陸地域におけるネットワークの構築に取り組んでまいりました。また女性研究者の割合や採用比率の目標値を設定し、女性限定公募を活用することによる目標値クリアを目指してまいりましたが、まだまだ優秀な女性人材の掘り起こしが足りていないと実感しています。

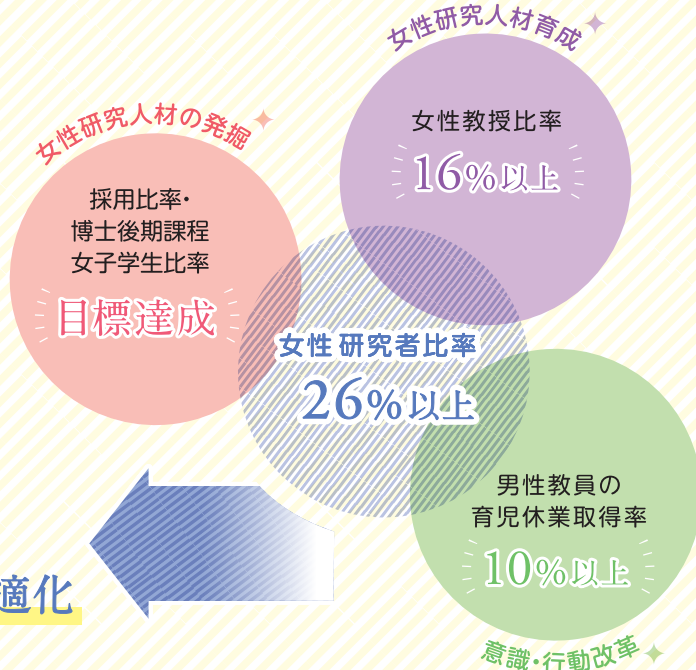
本年度、これまでの取組の成果と反省に基づき女性研究者をとりまく環境の問題点を吟味することにより、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択していただきました。本事業では、海外派遣や大型研究費申請支援等、直接的な支援により女性研究人材の育成を加速するとともに、より幅広いダイバーシティ環境の実現が女性研究者の活躍促進には不可欠との考えから、男性の育児休業取得促進や、これまで構築した人的ネットワークやICTを活用することによる研究人材交流の活性化に取り組んでいます。

本取組を通じて、研究者にとってより良いダイバーシティ研究環境を当たり前にし、優秀な女性研究者が生き生きと活躍できる大学を目指すとともに、HWRNや全国ダイバーシティネットワークと協働・協働することにより、北陸地域全体、ひいては我が国のダイバーシティ環境の実現につながることを目指したいと思っています。今後とも本事業の取組にご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

◆ 事業概要

北陸地域的女性研究者の活躍推進を牽引してきた金沢大学の実績を基盤に、女性研究者の研究力強化とそれによる上位職登用推進、女性研究者の裾野拡大・採用拡大、より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革のための取組を実施し、女性研究人材育成と活躍環境の最適化を目指します。

CHANGE!
女性研究人材不足の解消
女性研究人材育成と活躍環境の最適化



◆ 事業 1



女性研究者の **研究力強化** と
それによる **上位職への登用促進**



女性研究者海外派遣支援

女性研究者の海外派遣を支援し、海外の優れたキャリアモデルに学ぶことによるマネジメント能力の向上、国際的な研究ネットワークの構築、派遣中の研究専念と国際共同研究による研究力向上・国際共著論文の増加、海外での生活による語学力の向上を図ります。

今年度は本支援に2名の女性研究者が採択され、海外で研究活動を行いました。

令和3年度採択者(2名)

採択者	派遣先	派遣期間
理工研究域・准教授	カリフォルニア大学アーバイン校(米国)	2022年3月23日～6月14日
理工研究域・助教	ライプニッツ結晶成長研究所(ドイツ)	2022年3月1日～3月30日



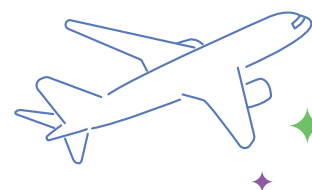
女性研究者大型研究費申請支援

大型研究費に申請した女性教員を対象に研究費を助成することにより、女性研究者の大型研究費への挑戦的な申請と採択を後押しし、女性研究者の上位職登用につなげます。

今年度は本支援に8名の女性研究者が採択されました。

令和3年度採択者(8名)

採択者	支援対象の研究費
融合研究域・助教	さきがけ
人間社会研究域・教授	国際共同研究強化(B)
医薬保健研究域・助教	学術変革領域研究(A) 公募研究
医薬保健研究域・助教	創発的研究支援事業
医薬保健研究域・教授	基盤研究(B)
医薬保健研究域・助教	ACT-X
ナノ生命科学研究所・教授	AMED
環日本海域環境研究センター・教授	SATREPS





女性研究者の 裾野拡大・採用拡大

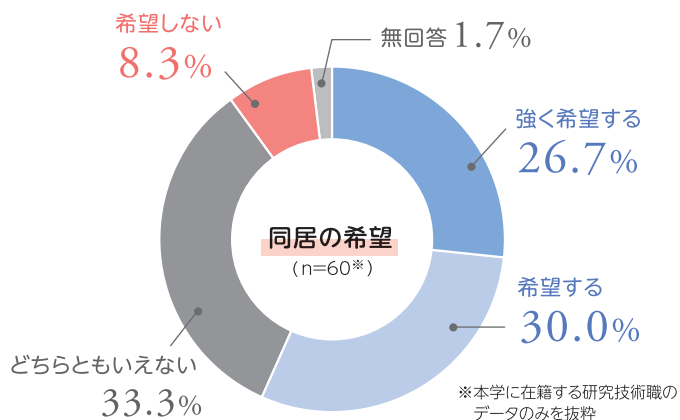
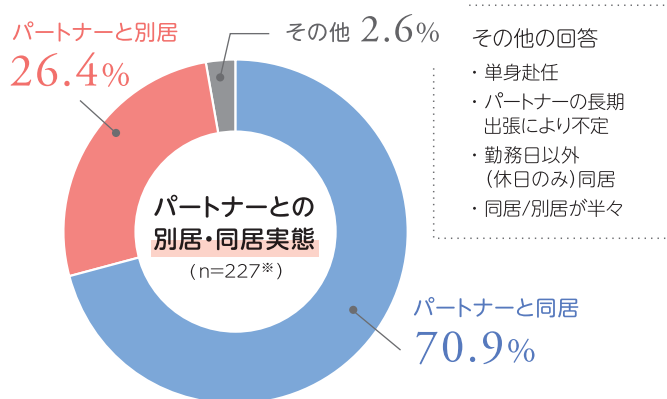


大学間人材交流調査会

パートナーとの同居・別居実態調査

女性研究者の別居婚の解消や別居婚世帯への支援策の検討に向け、金沢大学の全教職員を対象とした「パートナーとの同居・別居実態調査」を実施しました。本学の研究技術職のおよそ30%が男女問わず同居とは言い難い状況にあり、そのうちの60%前後が同居を希望していることが明らかになりました。詳細は調査報告書に掲載します。

調査対象	金沢大学の全教職員(非常勤職員、派遣職員を含む) 約4,000人
調査期間	令和4年2月9日(水)~2月22日(火)
調査方法	googleフォームによるWebアンケート
回答数	505件



大学間人材交流調査会

全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロックの参画機関と協同し、女性研究者の別居婚の解消や別居婚世帯への支援策を議論するための会合を実施しました。金沢大学で先行して実施した「パートナーとの同居・別居実態調査」を、各機関の実情に合わせて実施していただくことを依頼しました。



博士後期課程の女子学生育成制度

金沢大学の「次世代精鋭人材創発プロジェクト」による経済支援に加え、博士後期課程女子学生のキャリア形成や研究推進に対するサポート体制を構築します。令和4年度より制度運用を開始します。



ICTを活用したクロスアポイントメント制度の充実

多様な女性研究人材の採用の拡大や、育児・介護休業中の代替確保の容易化に向け、ICTを活用したクロスアポイントメント制度を構築します。



分野別研究人材交流会開催支援

産官学の人材交流を活性化するため、所属する学会等で研究者・技術者および女子学生の交流を促す取り組みを、リーダーシップをとって企画することを支援します。

今年度は機械工学系の女性研究者交流会の開催を1件支援しました。

◆ 事業 3



より広いダイバーシティ研究環境の 形成に向けた 意識啓発・行動改革



男性教員の育児休業取得促進セミナーの開催

日時 令和4年3月7日(月) 13:30～15:00 形式 オンライン

男性教員の育児休業取得促進を趣旨とし、学外を含む大学教職員および学生を対象に「男性育児休業取得促進セミナー」をオンラインにて開催しました。NPO法人ファザリング・ジャパン 代表理事 安藤哲也氏から、「男性育休促進で女性活躍も多様性推進も～ボウリングの一番ピンの狙い方～」と題し、男性育休の現状と課題、男性育休のメリット・デメリット、改正育休法のポイントや、なぜ男性育休が必要なのかをご講演いただきました。

ご講演後は、実際に男性育休を取得した経験のある早田宝得氏と参加者を交えて質疑応答を行いました。

大学・企業など学内外から幅広く参加があり、参加者からは「男性育休の大切さや、取得することのメリットが良く理解できた」という感想を頂き、育休取得についてそれぞれが深く考えるきっかけになりました。

本セミナーは学内向けにオンデマンドで視聴可能な形で公開しました。



女性教員の業務マネジメントサポート

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー内に、ワークライフバランスサポートオフィスを設置し、女性研究者の教育・運営に関する相談や教育に関するクロスアポイントメント制度の活用を行っています。



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)キックオフシンポジウムの開催

日時 令和4年3月2日(水) 13:00～14:30 形式 オンラインおよび対面

会場 ANAクラウンプラザホテル金沢 3F 鳳(東側)

女性研究者の活躍環境の最適化を考える取組の一つとして、テーマを「より広いダイバーシティ研究環境の実現」とし、ハイブリッド形式でシンポジウムを開催いたしました。当日は約50名にご参加いただきました。

シンポジウムでは、まず金沢大学 山崎 光悦学長から開会の挨拶が述べられ、文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室 室長補佐の三田 洋介氏より来賓挨拶を賜りました。続いて、金沢大学 長谷部 徳子学長補佐(男女共同参画推進担当)より事業紹介をおこないました。

基調講演では、九州大学 男女共同参画推進室 教授 上瀧 恵里子氏をお迎えしました。九州大学で先進的に取り組まれる、帯同雇用をはじめ戦略的人事制度についての内容を詳しくご講演いただきました。

アンケートには「九州大学の取り組みが大変興味深かった」、「九州大学の取り組みが、女性優遇ではなく、優秀な女性の活躍の場を広げるものであり、そのためには積極的な取り組みが必要であることが分かった。本学もぜひ取り入れて頂きたいと思った。」、「基調講演が分かりやすく参考になった」、「金沢大学の現状や今後の取り組みがわかったこと、そして九州大学の取り組みの詳細を知ることができたことが良かったです。」などの感想が寄せられました。



プログラム

13:00 開会挨拶 金沢大学長 山崎 光悦

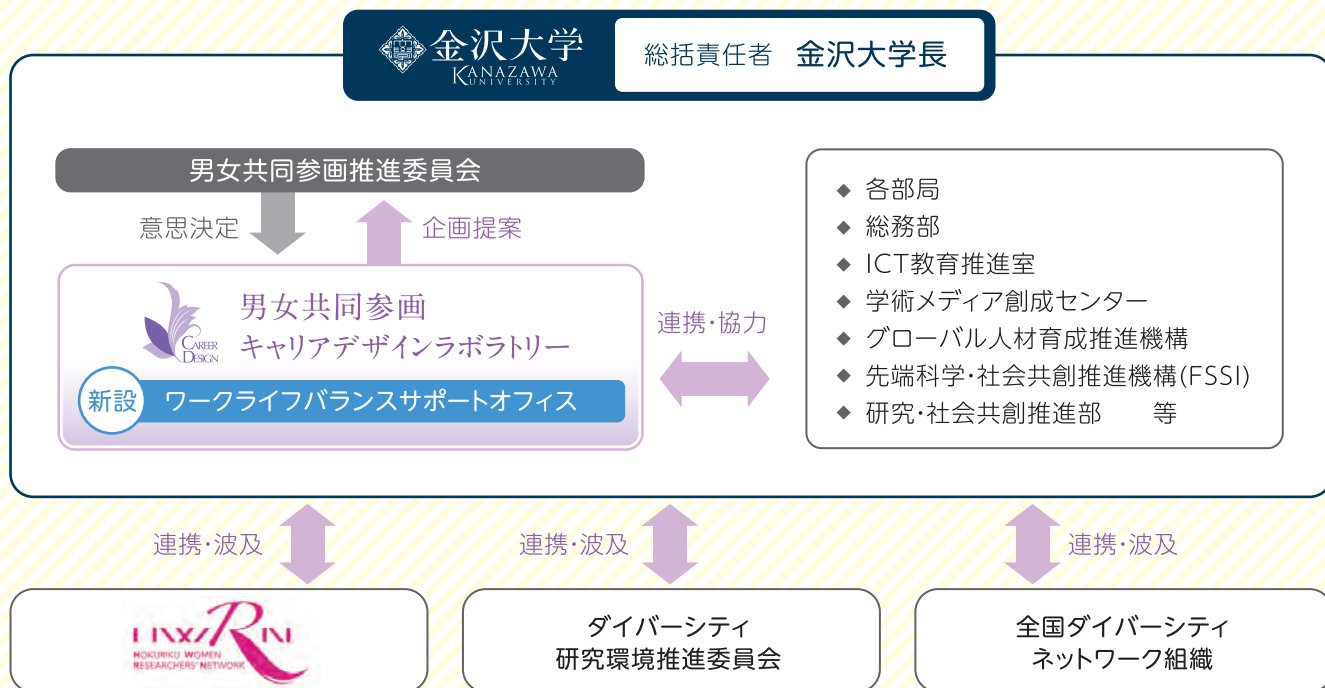
13:05 来賓挨拶
文部科学省 科学技術・学術政策局
人材政策課 人材政策推進室室長補佐
三田 洋介氏

13:15 事業紹介
金沢大学学長補佐(男女共同参画推進担当)
長谷部 徳子

13:35 基調講演
「ダイバーシティ推進に向けた戦略と実践
～九州大学の戦略的人事制度を中心に～」
九州大学男女共同参画推進室
教授 上瀧 恵里子氏

14:25 閉会挨拶
金沢大学男女共同参画担当理事・副学長
山岸 雅子

◆ 実施体制



◆ 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー スタッフ

ラボラトリー長	環日本海域環境研究センター 教授	長谷部 徳子
副ラボラトリー長	新学術創成研究機構 教授 理工研究域生命理工学系 准教授	児玉 昭雄 柿川 真紀子
ラボラトリー教員	人間社会研究域歴史言語文化学系 教授 人間社会研究域人間科学系 教授 理工研究域数物科学系 教授 理工研究域物質化学系 教授 医薬保健研究域保健学系 教授 ナノ生命科学研究所 教授 理工研究域フロンティア工学系 准教授 融合研究域融合科学系 助教	古畑 徹 眞鍋 知子 新井 豊子 佐藤 涉 森下 英理子 中島 美紀 滝口 昇 西脇 ゆり
ラボラトリー職員	特任助教 ワークライフバランスサポートオフィス研究員 事務補佐員	江口 友佳子 福士 美和 瀧本 奈々



金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
ワークライフバランスサポートオフィス